社会福祉法人　ゴウディングコミュニティ

avancer『アヴァンセ』

令和２年度・第１２号

令和３年４月吉日　所長　海老澤政昭

新生ごうでぃんぐとしてスタートし、一年が経過しました。本来であれば、たくさんの方々に新たな事業所を見ていただく予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で事業所を開放することもできず、主にホームページで活動を紹介するのが精いっぱいの一年でした。それでもほぼ毎日活動の様子をホームページ上でお伝えすることができ、多くの方々に見ていただけたのではないかと思っています。

新たに加わった就労継続支援Ｂ型における活動はまだまだ途上で、少しずつですが、６次産業化に近付きつつあります。本格的なカフェの営業にはまだまだ遠いですが、職員、仲間たちが日々奮闘しているところです。

さて、個別支援計画の面接では、ご協力ありがとうございました。全員、終了することができました。令和３年度における説明も終わり、新しい仲間を迎えての一年が始まります。

今年度は、事業所内駐車場に新たな建物を設置することになります。令和４年度に向けての準備として実施していきます。この建物の完成をもって、現在の通所生活介護の定員が変更になります。ごうでぃんぐでの取り組みは「労働を基軸」として展開していきます。「労働を基軸」というと、労働の占める割合が多いイメージがありますが、そうではなく、すべての人の成長、発達にとって「労働」の重要性を大切にしているということであり、特に学校教育から離れた仲間たちにとっての成長、発達は「労働」が先導すると考えています。しかしながら、私たちの生活にとっては「労働」以外のことも大切です。ごうでぃんぐでは、たくさんのゆたかな体験を保障すべく、さまざまなプログラムを準備しています。“こんな体験をするといいよ”と思われたなら、ごうでぃんぐにお伝えください。仲間たちのゆたかな生活をもっともっと拡げていけるように、今年度も取り組んでいきたいと考えています。

１年を振り返って

昨年の４月に開所したごうでぃんぐ岩世ヶ原も１年が過ぎました。就労継続支援Ｂ型では、カフェの準備を少しづつ始め、パンの製造や調理に汗を流し、椎茸の栽培では山の整備や収穫など頑張りました。通所生活介護も沢山のイベントを行いました。年度末には、公益信託市川園社会福祉基金より助成を頂き耕運機を購入することもできました！岩世ヶ原の畑も喜んでいることでしょう♪放課後等デイサービスでは、昨年より続く新型コロナウイルスの影響で外出など多くのイベントの中止が余儀なくされました。しかし、指導員による様々なアイデアで仲間たちを退屈させることなく過ごすことができました。この様に一年を振り返り岩世ヶ原の職員パワーは素晴らしいものですね。

【編集後記】

アヴァンセも初回号から７年が過ぎました。その間に法人格もNPO法人から社会福祉法人へと変わり、事業所の基盤も多くの方々の支えを頂き揺るぎないものへと成長することができました。これからも事業所の設立趣旨である「より共感関係が持てる地域コミュニティを目指し、社会的な信用を得て幅広く活動していくこと」を念頭に努力していきたいと願います。